

健康社会学研究会

ニューズレター No.44

発行:健康社会学研究会

事務局:〒504-8504 岐阜県各務原市那加桐野町2丁目43 東海女子短期大学 森川研究室内

FAX: 0583-83-5455 E-mail: healpro@tokai-wjc.ac.jp

ニューズレターNo. 44/2006年10月 編集担当 :臺 有桂·金子 純子

2006年9月 月例会開催報告

日時:平成18年9月2日(土)15:00~17:00 場所:日本子ども家庭総合研究所3階第1会議室

テーマ「健やか親子 21 の推進に向けた母子保健活動」

~乳幼児健診における親子の社会的健康を育むための支援に資する問診項目~

報告者 渡辺 多恵子氏 (保健師/常総市保健推進課)

鈴木 茜氏 (保健師/印西市中央保健センター)

(概要)

子どもの健やかな成長発達において「社会性」がと大変重要であり、妊娠期、乳幼児期からの 社会的健康度を育むための支援が、今、求められています。

厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究)「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」(主任研究者:山縣然太朗)では、科学的根拠に基づく乳幼児健診・問診項目の開発を行ってきました。研究協力者として問診項目の開発にかかわってきましたので、そのプロセスと内容について報告しました。

- 1. 母子保健情報を利活用するためのモデル・システムの開発
- 2. 「関係性」「環境」「子育て支援」のための問診項目(山縣班 50) 開発
- 3. 「山縣班 50」の市町村での具体的な活用

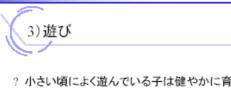
詳細につきましては、スライドをご参照ください。

【問い合わせ】 渡辺多恵子 <u>tae@fureai.or.ip</u>

鈴木茜 wind sunset 2005@vahoo.co.jp



今日,お話したいこと。 1. 母子保健情報を利活用するためのシステムの開発 2. 「関係性」「環境」「子育て支援」のための問診項目(山縣班50)開発 3. 「山縣班50」の市町村での具体的な活用



- ? 小さい頃によく遊んでいる子は健やかに育ちゆく (脳科学分野)
- ? 遊びついて、7項目を開発

- ? 母乳保育経験と思春期の性問題との関連
- ? 健やか親子21「母乳育児の推進」
- ? 遊びついて、3項目を開発

4)母乳·接触

5)食

- ?「食」は基本的生活習慣の基本
- ? 食育基本法(平成17年7月15日施行)
 - ?「食」は、豊かな人間性をはぐくむ
 - ?「食」は、生きる力を身につけていく
- ? 食について、6項目を開発

6)生活習慣

- ? 子どもの脳(人間性)を発達させていくのに重要
- ? 生活習慣について, 7項目を開発

7) 地域・周囲からの関わり(親子へ)

- ? 地域の環境は、子ども成長に影響
- ? 子どもを取り巻く環境として、親子への関わりは 重要
- ? 地域・周囲からの関わりについて、3項目を開発

8)喫煙

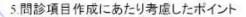
- ? 健やか親子21の課題
- ? 対策の遅れ
- ? 喫煙について、2項目を開発

9)医療

- ? 健やか親子21の課題
- ? 対策の遅れ
- ? 医療について、3項目を開発

10)事故

- ? 健やか親子21の課題
- ? 対策の遅れ
- ? 事故について、5項目を開発



- 1. 健やか親子21の視点・指標の導入
- 2. 各市町村にて用いられている現行の設問を考慮 → 社会的健康度の視点で読み替える
- 3. 各市町村の現行問診表に追加して使用できるサイズ
- 4. 大規模調査の類似設問を考慮する

親と子の健康度調査/国民生活基礎調査/ 食を通じた健全育成のあり方検討会

→ 比較検討が可能となる

山縣班50 問診編

1.親の(地域)社会との関わり

- (1)地域の子育てサークル等に参加していますか
- (2)地域のお祭りや行事に参加していますか
- (3)公園などに子どもを連れて遊びに行くことがありますか
- (4)子育てが楽しいと思える時がよくありますか

(1) 自分はこの子を、扱いにくい子だと感じていますか

2.親の身体・精神的健康度

- (2)自分は子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか
- (3)子どもが泣き止まず、いらいらすることがよくありますか
- (4)あなたは現在、健康上の問題で子育てに何か影響はありますか
- (5)ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか
- (6) 自分ひとりで子育てしているという思いがありますか

3.遊び

- (1)よくテレビ・ビデオを見せていますか
- (2)絵本の読み聞かせをよくしていますか
- (3)お子さんとよく遊んでいますか
- (4)お父さんはお子さんとよく遊んでいますか
- (5)外遊びをよくしますか
- (6)友達とよく遊びますか
- (7)ごっこ遊びをしていますか

4.母乳·接触

- (1)お父さんはおむつを替えますか
- (2)添い寝をして寝ていますか
- (3)生後1ヶ月のころ、母乳育児をしていますか

5.食

(1)食事の時間は、だいたい決まっています

- (2)家族と一緒に食事をすることがよくありますか
- (3)おやつは時間をきめて与えていますか

(4)よくかんで食べますか

- (5)子どもの食事をつくるのは楽しいですか
- (6)お子さんは、一緒に食事づくりや後片付けをしていますか

6.生活習慣

- (1)おむつはとれましたか
- (2)子どもを連れて夜外出・外食などをすることがありますか
- (3)子どもは早寝早起きをしていますか
- (4)おしゃぶりを使っていますか
- (5)歯磨きや手洗いをしていますか
- (6)衣服の着脱をひとりでしますか
- (7)保護者が歯の仕上げ磨きをしていますか

7.地域・周囲からの関わり(親子へ)

- (1) 日常の子育ての相談相手は誰ですか
- (2) あなたの住んでいる地域では、子どもに道で声をかけてくれる人がいますか
- (3) 他の子どもに道でよく声をかけますか

8.喫煙

- (1)あなたは現在, 喫煙していますか
- (2)あなた以外の家族は、現在、喫煙していますか

42

9.医療

- (1)かかりつけの医師はいますか
- (2)休日夜間にお子さんが急病のとき、診察してもらえる 医療機関を知っていますか
- (3)子どもを対象にした心肺蘇生法(心臓マッサージなどの 教急措置)の講習を受けたことがありますか

乳幼児健診情報集積システムの試験的地域運用

10.事故

- (1)車に乗るときはチャイルドシートを必ず着用していますか
- (2)あなたは、車に乗るときはシートベルトを必ずしていますか
- (3)薬・タバコ・あめ・ビアス・硬貨などの小物は1メートル以上 の高さのところに置いていますか
- (4)お風呂に残し湯をしていますか
- (5)自転車に乗せる時には、子どもにヘルメットを着用させていますか

43

(1)問診表・健診表の導入

モデル地区

- ? 愛知県吉良町・・・既存の問診票の見直し
- ? 千葉県印西市・・・母子保健ガイドブックの開発

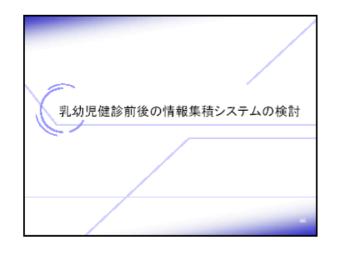
(2)システムの導入

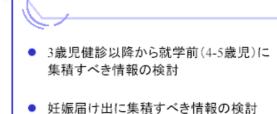
- ? モデル地区
 - ? 愛知県知多保健所管内

愛知県知多保健所管内

- ●データベースの導入 電算化されていない自治体へ 愛知県大府市
- 市町と保健所(県)での個別データの収集 東海市、大府市、阿久比町、知多保健所

6





運営委員会報告

日 時:平成18年5月13日(土) 11時~14時

場 所:日本子ども家庭総合研究所

出席者:松岡代表、小山委員、斉藤委員、杉田委員、鈴木委員、臺委員、森川委員

題:(1)事務局移転について (2)新運営委員の加入について (3)5月月例会について (4)第37回健康社会学セミナーについて

(5) 総会について (6) 研究誌について

時:平成18年6月17日(土)11時~11時30分

所:日本子ども家庭総合研究所

出席者:松岡代表、小山委員、金子委員、斉藤委員、鈴木委員、臺委員

題:(1)第37回健康社会学セミナーについて

日 時:平成18年7月29日(土)17時~19時

場 所:日本子ども家庭総合研究所

出席者:松岡代表、小山委員、金子委員、鈴木委員、臺委員、森川委員

題:(1)9月月例会について (2)11月月例会について

(3) 12 月セミナーについて (4) ホームページの充実について

(5)研究誌について

時: 平成 18 年 9 月 2 日 (土) 12 時~14 時

所:日本子ども家庭総合研究所

出席者:松岡代表、小山委員、斉藤委員、鈴木委員

議 題:(1)9月月例会について (2)11月月例会について

(3) 12 月セミナーについて (4) ITの充実について

(5)研究誌について (6)出版企画について

2006年11月 月例会のご案内

テーマ:質的研究アラカルト

報告者:「自由記述の取り扱いについて~市町村における調査を行った立場から」

和田 耕太郎氏(日本子ども家庭総合研究所)

「自由記述の結果の比較~手作業と KH coder*1」

森川 洋氏 (東海女子短期大学)

「使ってみよう KH coder」

斉藤 進氏(日本子ども家庭総合研究所)

日 時:平成18年11月11日(土) 15時00分~17時(受付14時30分~)

場 所:日本子ども家庭総合研究所3階第1会議室(地下鉄広尾駅下車徒歩8分)

会 員:無料、非会員:1,000円

*¹KH coder: 内容分析(計量テキスト分析)もしくはテキストマイニングのためのフリーソフトウェア。新聞記事、質問紙調査における自由回答項目、インタビュー記録など、社会調査によって得られる様々な日本語 テキスト型 データ を計量的に分析するために製作された。(「KH coder Index Page」http://khc.sourceforge.net/2006.10.2 より引用)

可能であれば、パソコン(Windows 対応版)をご持参ください。

17時30分より広尾駅周辺で懇親会を開催いたします。

第38回 健康社会学セミナーのご案内

セミナーテーマ:アルマアタ宣言から 32 年、オタワ憲章から 20 年

~人々の健康はどう変わったのか

●基調講演(13:30~14:30)

「PHC32 年・HP20 年-世界の人々の健康はどう変わったか」

演者 松田 正己氏(静岡県立大学看護学部)

● \mathbf{D} **ー**クショップ (14:45~17:20)

話題提起「PHC・HP・その理解と実践適用」

話題提供者:奥野ひろみ(静岡県立大学助教授)笠井喜久雄(白井市市民参加推進課)インドネシア、ネパールでPHCをもとにした開発協力の経験者と全国に先がけて健康文化都市宣言を行った白井市のお二人に、PHCとHPの「これまで」と「これから」について話題提起してもらいます。その後、参加者同士で話し合い、最後に松田先生をはじめ話題提起のお二人を交えて意見交換を行います。

日 時:12月2日(土)13:30~17:30(受付13:00~)

場 所:日本子ども家庭総合研究所3階第1会議室 (地下鉄広尾駅下車徒歩8分) セミナー主旨:

PHC アルマアタ宣言から 32 年、HP オタワ憲章から 20 年の歳月が経ちます。この間私達の研究会でも PHC と HP を車の両輪ととらえて研究会を行ってきました。

また国内でも「健康日本 21」や「健やか親子 21」にみられるように政策づくりの 枠組みに HP が用いられたり、環境づくりにも企図した政策が提供されています。

本セミナーでは、WHO の 21 世紀の HFA を視野におきながら「これから」の PHC と HP を考えます。